



祝辞

科学技術は広い裾野があつてこそ イノベーションが生まれる 中小企業と協会への期待は大きい

文部科学省 研究振興局振興企画課長 松尾 浩道

受賞された皆様、おめでとうございます。本日は公務出張中の大臣官房審議官生川浩史からメッセージを預ってまいりましたので、私が代読させていただきます。

第41回発明大賞受賞式が挙行されるに当たり、お祝いの言葉を申し上げます。栄えある各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。皆様におかれましては、それぞれの分野において卓越した発明考案を通じて、科学技術の発展に大きく貢献されてこられました。ここに深く敬意を表しますとともに、支えてこられたご家族の皆様、関係の皆様にもお喜びを申し上げます。

昨年は2年連続となる日本人のノーベル賞受賞や、アジア初となる113番元素の命名権取得など、改めて我が国の学術研究、基礎研究が高い水準であることを世界に示す出来事がありました。これらは同時に子供たちを含めた国民全体に夢を与え、科学への興味と関心を喚起するものでもあり、学術研究、基礎研究が国力の源であると改めて実感した次第です。昨年10月、ノーベル賞を受賞された大村智先生と梶田隆章先生が安倍総理のもとを訪問された際にも、広い裾野があつてこそ、今回のような卓越した成果が生まれてくるというお話があつたと聞いております。また、先日閣議決定された第5期科学技術基本計画においては、人材力や学術研究をはじめとした知の基盤の強化がしっかりと位置付けられております。文部科学省としては、失敗を恐れず高いハードルに果敢に挑戦できる環境整備を進め、多様で卓越した学術研究、基礎研究の支援に一層努めていくこととしております。

しかしながら、国の取組だけでは十分とは申せません。我が国全体の科学技術の振興の観点から、日本発明振興協会並びに日刊工業新聞社が長年にわたり優れた発明を考案された中堅・中小企業の方々を顕彰し、我が国の科学技術の振興に大きく寄与されてこられたことは大変意義深いことであり、改めて心から敬意を表します。

結びに、本日ご列席の皆様方のますますのご健勝とご活躍、そして本事業の一層のご発展を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。本日は誠にありがとうございました。

(要約)